

開講期	2025年度後期			単位数	2.0単位
科目[授業]名	5128 メディア論			開講形態 (隔週 偶数 = 隔週2コマ)	週間授業
種別	人数制限(抽選)			定員	301
履修可能学年	全学年履修可	重複履修	×	全学開講	○
曜日時限	月曜4限				
教室	E101教室				
代表教員	角尾 宣信				
担当教員	角尾 宣信				
テーマと到達目標	新聞、ラジオ、映画、テレビ、インターネット、そしてSNS。様々なメディアを通じて様々な情報が私たちを取り囲んでいます。しかし、ウソか真実かを見抜くのは困難でもあります。本授業の目標は、こうした「本当っぽさ」が渦巻く現在において、そうした情報を提供するメディア自体の構造を分析し、メディアがどのように本当っぽさを作り出しているのかを理解し、そこから各情報の真偽を判断する術を身に着けることです。				
概要	本授業では、メディアに関する研究、いわゆるメディア論の様々な研究成果を学ぶとともに、実際の私たちの感覚、「本当っぽさ」について考えていきます。ネットメディアとマスメディアの関係性を捉え、そこでのフェイクニュースの今日的意義を探り、昨今の政治とメディアの密接な連関または齟齬を同時代的に、また歴史的視座を以て、考察していきます。アメリカ大統領選挙を巡る不正疑惑の陰謀論、また安倍・菅政権において進行した中韓に対する差別意識の膨張や野党に対するネガティブ・キャンペーン、そして歴史改ざんの動きを検討します。				
対面科目/オンライン科目	対面科目				
授業計画				担当教員(複数の教員が担当する場合のみ記載)	授業方式
第1回	オリエンテーション——そもそも「メディア」ってなんだ？				対面授業
第2回	間メディア社会としての現代——ネットメディアとマスメディアの関係性				対面授業
第3回	ネットメディアと炎上				対面授業
第4回	ネットメディアは社会を分断する？				対面授業
第5回	ネットメディアは社会を分断しない？				対面授業
第6回	自民党のメディア戦略——社会の一極化へ				対面授業
第7回	ネット世論操作とフェイクニュース				対面授業
第8回	メディアと選挙				対面授業
第9回	現代のメディアと戦争の記憶				対面授業
第10回	ハイブリット戦——ネット世論操作されやすい国の特徴				対面授業
第11回	フェイクニュースへの諸対策とその限界				対面授業
第12回	メディアと感情/情動の問題				対面授業
第13回	メディアと戦争——怒りの時間性				対面授業
第14回	怒りとシラケ——メディアと大衆心理				対面授業
第15回	まとめ——政治的思考の再獲得へ向けて				対面授業
成績評価の基準	毎回課題となる小レポートを出題します(200字以上。締切期限あり。提出方法は初回授業で指示)。その回答内容を評価します。課題提出数が全課題数の3分の2未満の者(未提出が6回以上の者)の単位は認定しません。また、インターネット上等から複写した文章を記し、その出典を明記していないものは、一回でも「剽窃行為」として不可になります。複数の者が同文の解答・回答を提出した場合、その全員を零点とします。				
履修にあたっての留意事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本授業では、テーマの性質上、心理的に負担のかかる資料(戦争暴力やヘイト動画等)を提示する場合があります。そうした資料を提示する際は、その前に注意喚起をします。履修される方は、その点を了解の上、履修するようにしてください。</li> <li>・試験は行いませんが、各授業の後に提出する課題小レポートの内容が成績評価を左右します。</li> <li>・小レポートにおいては、チャットGPTの使用を禁止します。発覚した場合は呼び出し、または不可とします。</li> </ul>				
オンライン授業方式(同時双方向型・オンデマンド型)の詳細					

【種別】人数制限（抽選）授業の優先条件	T学科
---------------------	-----

◆教科書・教材

教科書以外に必要な教材費用	なし。		
教科書	各授業で資料を配布します。また、映像や音声資料に関しては、授業中に抜粋部分を観賞し、議論します。	教科書(ISBN)	
参考文献	各授業で指示します。	参考文献(ISBN)	